

時間割コード	G1D14602	開講年度	2026				
授業題目	フランス語初級（読解・会話）Ⅱ					担当教員	鈴木 球子
英文授業名	French: Elementary Level (Reading Comprehension / Conversation) Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	LⅠ／全
講義室	共通教育35講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP 学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	・フランス語学習を通じて、日本語や英語に対する感覚も磨きつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになる。フランス語検定4級程度の語学運用能力を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	初歩的なフランス語の読解・会話能力を習得します。辞書を用いて、簡単な文章を読めることと、自己紹介などの簡単な会話ができることが目標です。授業は後述の教科書『ピエールとユゴー』（三訂版）（Pierre et Hugo）を用いて進めます。綴りと発音の決まりや、文の構造を徹底的に学び、それから徐々に短文を読み解いていきます。 大まかな進度は、以下の「授業計画」で示している通りですが、履修者の理解度に応じて、臨機応変に対応します。						
(5)授業のキーワード	フランス語、初修外国語、読解、複言語・複文化						
(6)授業計画	1-2. 第8課 時刻を聞く、非人称構文、直接目的語の人称代名詞 3-4. 第9課 値段を聞く、prendreの活用、間接目的語の人称代名詞 5-6. 第10課 料理を選ぶ、近接未来、近接過去、中性代名詞 7-8. 第11課 比較する、比較級、最上級 9-10. 第12課 過去のことを話す、過去分詞、直説法複合過去 11-12. 第13課 過去のことを話す、直説法複合過去 13-14. 第14課 理由を聞く、直説法複合過去、直説法大過去 15. 第15課 未来のことを話す、直説法単純未来、直説法前過去 15回目に授業アンケートを実施します。 各授業の後に、小テストや練習問題などの事後学習課題が出されます。 7もしくは8回目の授業が終了した後に、中間試験を実施します。あるいは中間課題を課します。 16回目に期末試験を実施します。						
(7)成績評価の方法	平常点（下記詳細）（30点）と、中間試験/あるいは中間課題（20点）、期末試験（50点）によって、総合的に成績評価を行います。						
(8)成績評価の基準	・平常点30点：毎回の確認課題の提出状況や、綴りや発音、ヒアリングの正確さ、などを、計30点満点に換算します。 ・中間試験/中間課題20点：中間試験あるいは中間課題の得点を計20点満点に換算します。 ・期末試験50点：期末試験の得点を計50点満点に換算します。 ・ある程度の文法・語彙のミスは見られるが、動詞を適切に活用でき、短いフランス語の文の読み書きと聞き取り、簡単な会話ができる場合、「目的の達成水準にある」とします。 ・軽度の文法・語彙のミスは見られるが、動詞を適切に活用でき、基本的なフランス語の文の読み書きと聞き取り、簡単な会話ができる場合、「達成水準よりやや上にある」とします。 ・動詞と形容詞を適切に使いこなし、比較的複雑なフランス語の文の読み書きと聞き取りができ、フランス語の質問に対して適切な回答ができる場合、「かなり上にある」とします（微細なミスに関しては、許容範囲とする）。 ・円滑なフランス語を用いて会話ができ、比較的複雑なフランス語の文の読み書きと聞き取りができ、動詞の活用や形容詞の性・数一致においてミスがない場合、「卓越している」とします。						
(9)事前事後学習の内容	・事前に音源を聞き、授業開始時には発音の確認ができていないようにしましょう。 ・基本的に、各課の「Exercices」は課題になります。 ・復習が非常に大切であるため、出された課題にきちんと取り組みましょう。テキストを繰り返し再読（音読）しましょう。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	・理解度・習得度の低い事柄については、次回授業、メール、オフィスアワーなどを活用して、必ずしっかりと確認しましょう。 ・語学はただ出席するだけでは身につけません。授業外学習にきちんと取り組み、予・復習をしましょう。とりわけ、ヒアリングの予習はきちんとやってきましょう。 ・辞書については、授業中に説明をします。 ・参考書（購入は任意）の使い方は、授業中に説明します。 ・遅刻は授業開始直後～30分までです。開始後30分以降に入室した場合は、欠席扱いとなります。また、						

(10)履修上の注意	遅刻を3回した場合、1回分の欠席にカウントします。
(11)質問,相談への対応	オフィスアワー、メールアドレス：e-ALPSに提示します。 質問は基本的にはメールで受け付け、返信をします（土日と休日は返信しません）。授業後に時間がある場合も、質問を受け付けます。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	小笠原洋子著、『ピエールとユゴー（Pierre et Hugo）』（三訂版）、白水社、2019年、2500円＋税、ISBN 978-4-560-06130-5 ※ この教科書には複数の版がありますので、気を付けましょう。
【参考書】	森本英夫他、『増補改訂版 新・リュミエールフランス文法参考書』、駿河台出版社、2013年、2100円＋税、ISBN 978-4-411-00532-8 ※ 上記の参考書の購入は任意です。授業で使用するものというよりは、自宅学習の際に、文法事項を確認するのに使用すると便利です。詳しくはオリエンテーション時に説明します。 杉山香織他編著、『コフレ フランス語基礎単語集』、朝日出版、2019年、1300円＋税、ISBN 978-4-255-35301-2 ※ 上記の参考書は、「フランス語初級（文法）Ⅰ・Ⅱ」の授業でも使用するものですので、購入してください。